

聴導犬普及するための『聴導犬ユーザー』による『聴導犬』出前デモンストレーションの案内

2014年10月18日(土)沖縄県総合福祉センター東棟401研修室
午後2時から4時まで ユーザーと聴導犬の会話はどうするか? 実演してみせますよ。
※ 沖縄聴覚障害者情報センター TEL098-943-6617 FAX098-943-6556

News 2: 8年かかりで実現! 沖縄県 2頭目けいちゃん 地元で認定試験

沖縄第1号聴導犬のまつ君貸与(8年前)から、沖縄のユ▼聴導犬認定試験。情報保障は手話とPCで(沖縄県総合福祉センターユーザーの負担を少しづつ軽減するために、3点の改善を図り続けてきました。①航空会社の受入:自宅訓練(認定前に行われる)のための客室への候補犬搭乗の許可 ②乗車訓練のための沖縄の公的交通機関の協力:認定前の乗車訓練のため ③県内での認定委員:認定試験を行う地元専門家の協力。①については2012年にJALが条件付きで候補犬の搭乗に協力してくださいました。②については、聴導犬まつ君の活躍もあり、東陽バスと沖縄都市モノレール社の快諾を得て乗車訓練を重ねられました。③沖縄県身体障害者更生相談所のお力添えで、沖縄県内の言語聴覚士、社会福祉士、聴覚障害者相談員のお三方(他の5名は本州から沖縄へ)が認定委員にご就任くださいました。沖縄県内での認定試験。やっと現実!うれしい。



▲認定試験でモノレールのマナーも抜群



聴導犬は
聴覚障がいのある方にタッチして
生活に必要な音を伝えます。

補助犬(聴導犬・介助犬)ユーザーの条件
①聴覚または肢体障がいのある18歳以上の方
②聴導犬または介助犬の助けが日中も必要な方
③経済的、身体的に犬を飼える方
④できれば他に犬を飼っていない方
⑤犬を飼える環境にある方
⑥家族や知人などの協力を得られる方

ユーザー募集中!!

補助犬の中で、「聴導犬」は
最も働きが想像しにくい?
24時間体制の安全を提供!

呼ぶ人の所まで導く
↓
緊急時に手助けを呼べる

手元から落としたカギを拾う
↓
家の安全確保

赤ん坊などの泣き声
↓
事故や急病から子供を守る

目覚まし時計の音
↓
寝坊なし! 布団の上に乗り、起床する起こすまで

煙報知器の音
↓
起こした後、床に「伏せ」し「危険」と報せ、避難を即す

携帯用の鈴の音
↓
銀行や郵便局、病院などでの受付などへ導く。順番を逃さない



笛吹きやかんの音
↓
吹き零れによるガス漏れや火災防止

玄関チャイムの音
↓
訪問客宅急便を逃さない

ドアノック
↓
プライバシーを守る。ホテル等の避難情報の伝達

料理タイマーの音
(洗濯機の終わる時間。お風呂の水が浴槽にいっぽいになる時間。電子レンジのセットした時間などにも使用できます)
↓
吹き零れによるガス漏れ、空焚きによる火災などを防止

主催 社会福祉法人 日本聴導犬協会

